

「ジャパン祭り 2025」（英国・ロンドン）に出展しました

1 JAPAN MATSURI 2025 概要

2025 年 9 月 21 日、ロンドン・トラファルガー広場で英国最大級の日本文化紹介イベント「JAPAN MATSURI 2025」が開催されました。日英の友好を象徴する催しであり、15 回目となる今回は天候にも恵まれ、多くの来場者でにぎわいました。ステージでは武道演武や和楽器の演奏、ラジオ体操など多彩なパフォーマンスが行われ、観客の拍手と歓声で盛り上がりました。会場にはたこ焼きや唐揚げ、抹茶スイーツなどの日本を感じられる屋台が並び、開会直後から長蛇の列が途絶えない人気ぶりでした。

イベント名	JAPAN MATSURI 2025
期 間	2025 年 9 月 21 日（日）
場 所	トラファルガー広場
主 催 者	ジャパン祭り実行委員会（在英国日本国大使館、英国日本人会、在英日本商工会議所、ジャパン・ソサエティ、日本クラブ、大和日英基金、グレートブリテン・ササカワ財団、国際交流基金）
後 援	ロンドン市長
参 加 者 数	3.5 万人以上
ウェブサイト	https://japanmatsuri.com/

（会場、各種アクティビティの様子）



2 弊所出展内容

弊所のブースでは、日本各地の魅力を多角的に発信するため、各自治体からご提供いただいたパンフレットの配布やポスターの展示、さらにタブレット端末を活用した観光プロモーション動画の上映などを行いました。これにより、訪問者に視覚的かつ感覚的に日本の観光資源を楽しんでいただくことができました。特に、紙媒体のパンフレットは非常に人気が高く、一日での配布数は約 3,200 部に達しました。

昨年度は一時雨が降っていましたが、今年は天候に恵まれ、用意したパンフレットは閉会を待たずに配布し終えてしまうほどでした。無料で誰でも入場できるイベントでもあることから、大変多くの来場者が訪れるこの場での PR 効果は大きいように感じました。

来場者の方が手に取るパンフレットは、中身を詳しく見たり、行きたい旅行先や知っている地域で選ぶというよりも、表紙の鮮やかさや伝統文化的なデザインに惹かれているように見受けられるシーンが多く、シンプルで目に留まる種類のものが好まれる印象でした。アンケート調査の結果（後述）も踏まえると、文化や食、自然をモチーフにしたデザインがより手に取ってもらいやすいようです。

さらに、今回は初めて日本政府観光局（JNTO）ロンドン事務所と連携し、双方の職員が協力してブースを運営しながら、地方案内の手法を相互に学び合う機会ともなりました。JNTO のブースでは、主要都市・空港から目的地までにかかる所要時間を可視化することで、来場者に具体的な旅行のイメージを持ってもらう工夫がされており、弊所職員にとっては地方自治体を紹介する際に役立つスキルとなりました。

（弊所ブース（右上：JNTO ブース））

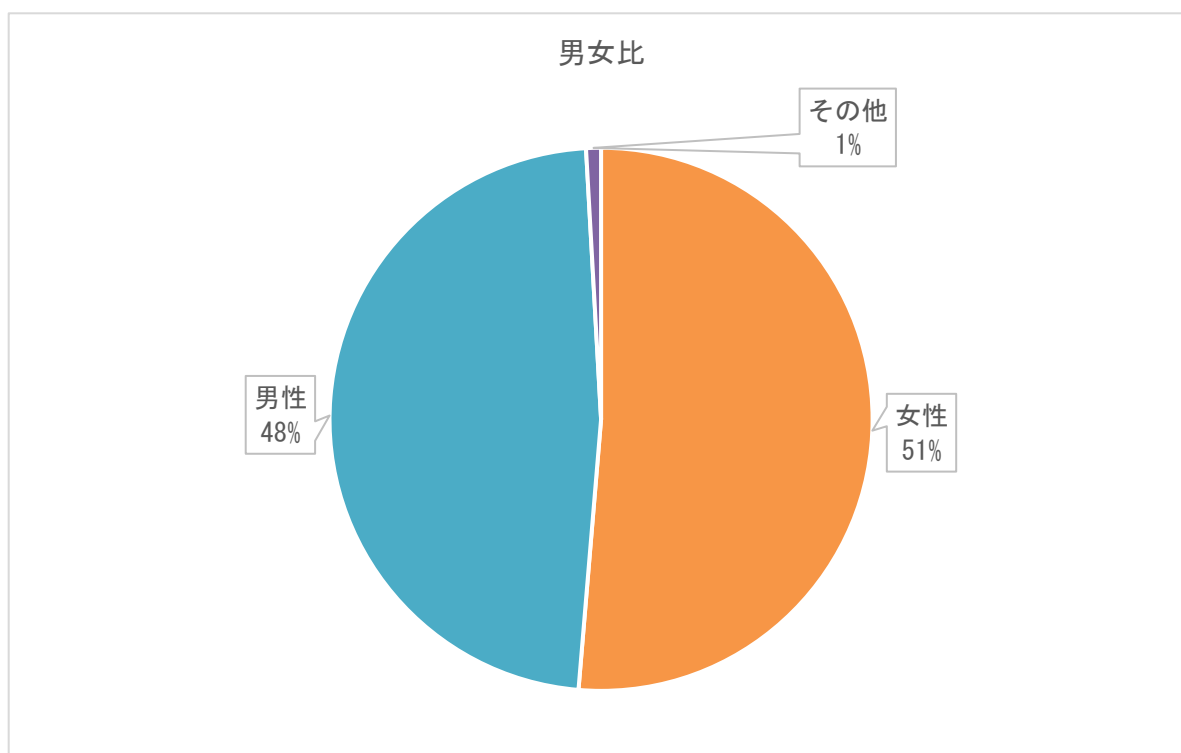
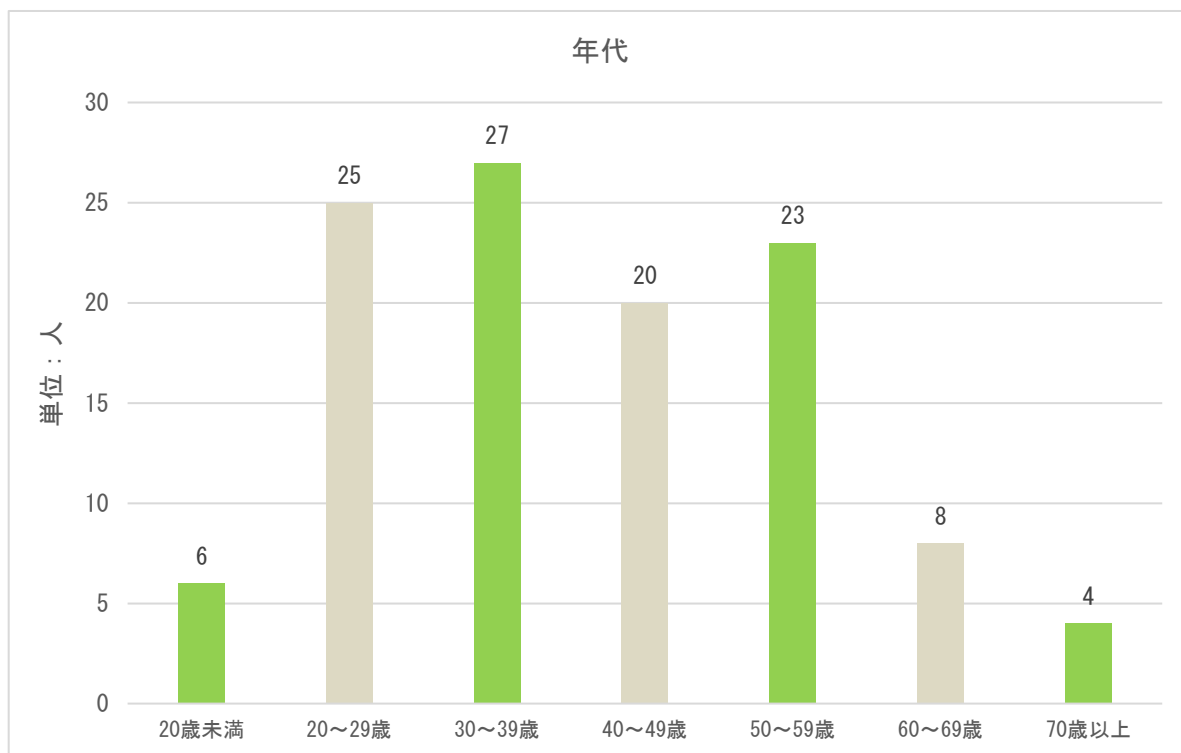


3 アンケート結果

来場者の方々にご協力いただき、計 113 名にアンケートを取ることができました。各質問項目およびアンケート結果については以下のとおりです。

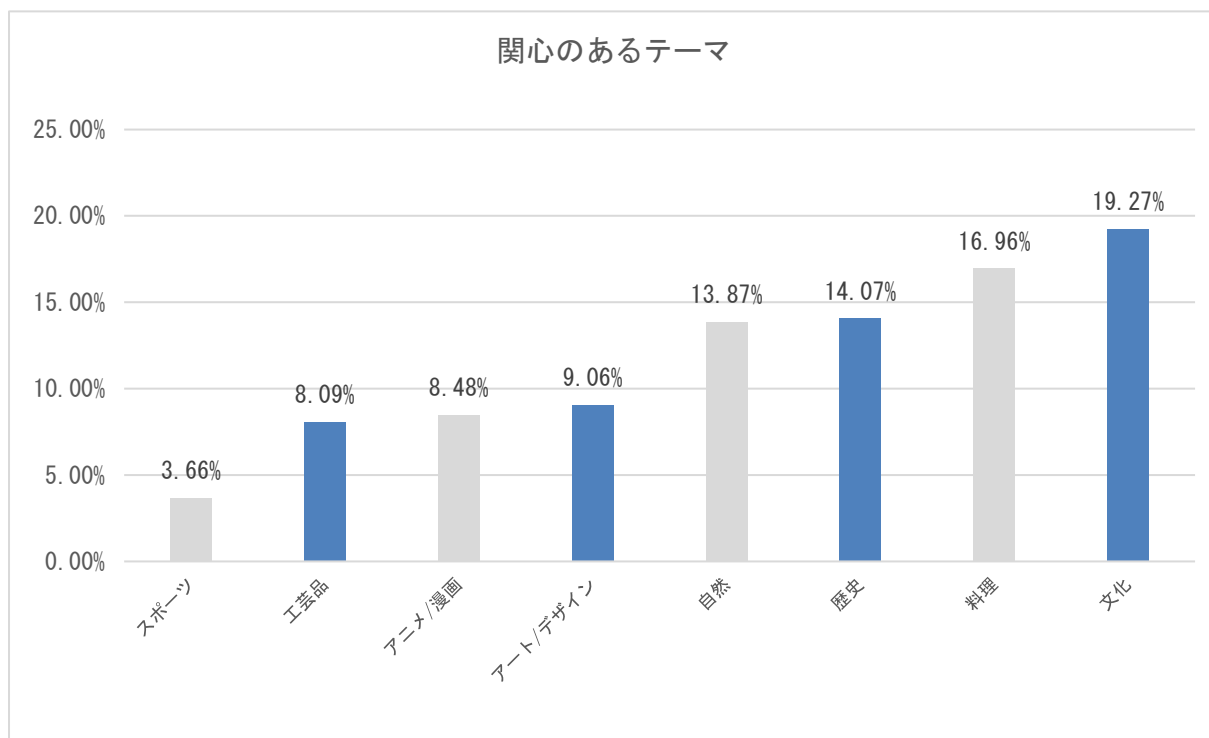
(1) 回答者の年代および性別

30～39 歳が最も多く、次いで 20～29 歳、50～59 歳が多いという結果になりました。また、回答者の性別の割合はほぼ同率でした。



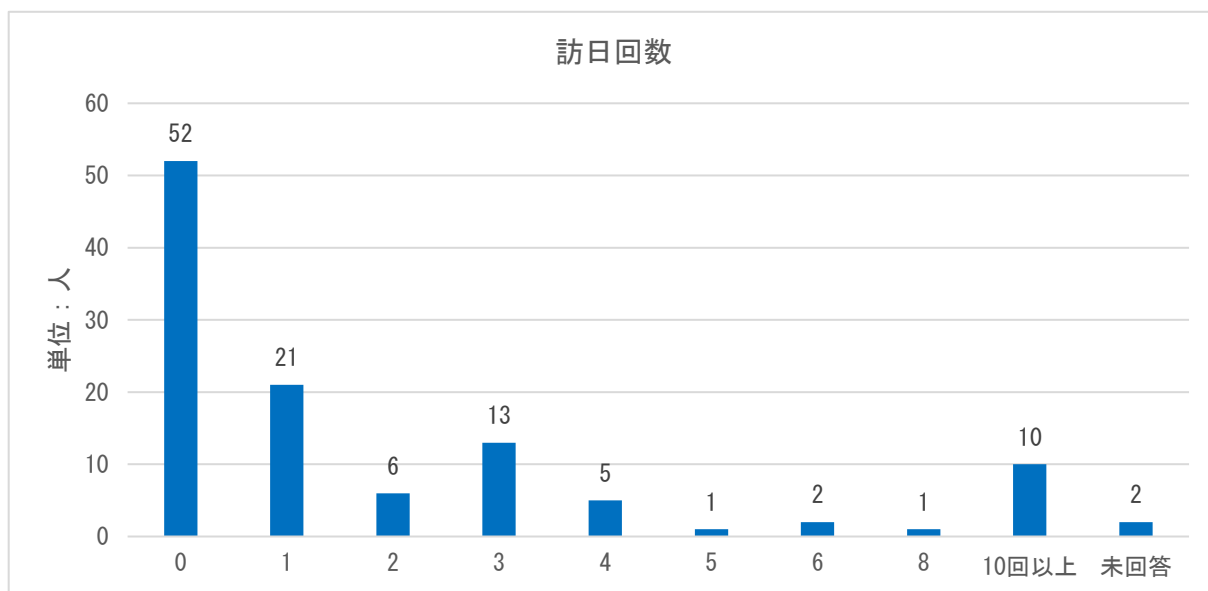
(2) 日本への関心事項

文化、料理、歴史に関心を持つ方が多くみられました。この結果はアンケート結果だけでなく、実際に来場者のお話を伺う中でも、伝統的なお祭りや料理などに興味をお持ちの方々が多くいらっしゃることから、インバウンド需要の獲得に向けては、特に地域固有の伝統文化や郷土料理、その歴史背景などについて積極的に情報発信することが効果的であると考えられます。



(3) 訪日回数

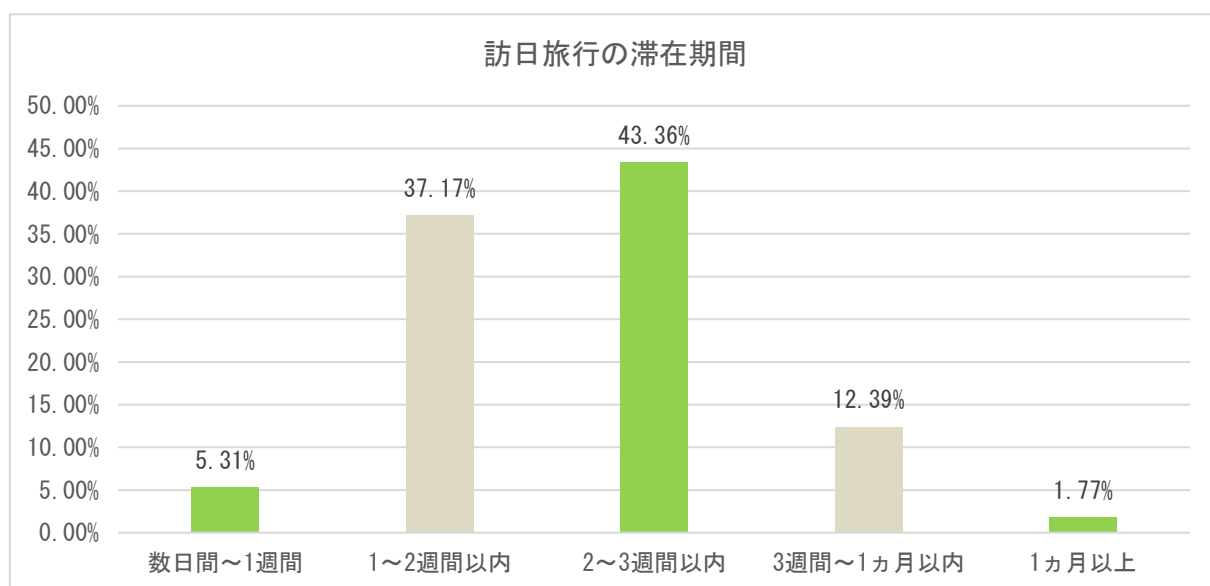
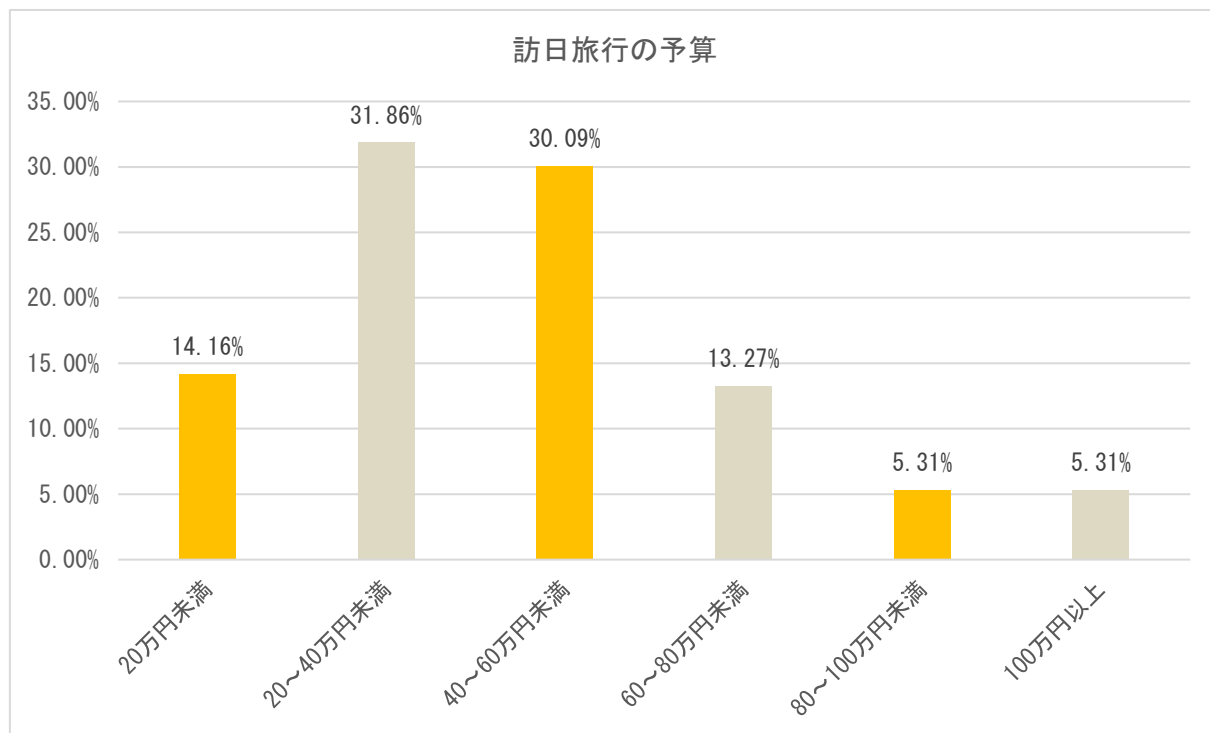
訪日経験がない方が 52 人と、全体の約 46%を占めましたが、他方で一度以上の訪日経験がある方が過半数を占める結果となりました。特に 10 回以上の訪日経験のある方が 10 人いることから、一定の割合で日本に強い関心を持っている層がいることが分かりました。



（４）訪日旅行時の予算（フライト代除く）および滞在期間

訪日旅行時の予算について、「20～40 万円未満」が約 32%で 1 位、「40～60 万円未満」が約 30%、「20 万円未満」が約 14%と続きます。

また、滞在期間については「2～3 週間以内」が約 43%と最も割合が高く、「1～2 週間以内」の約 37%、「3 週間～1 か月以内」の約 12%が続きます。



4 来場者の反応・印象

当事務所のブースへの訪問者は、日本を一度は訪れたことのある方や、訪れたことはないものの旅行を検討しているという方が多数でした。来場者からは「東京や京都ではない地方に行ってみたい」「温泉と地方の郷土料理を楽しみたい」といったコメントのほか、JET プログラムの応募方法や要件等に関する質問や関心も多く寄せられました。